

パンクラチオン・スタイル・レスリング～オリンピック正式種目へ向けて・・・

(財)日本レスリング協会・総合格闘技委員会委員長 木口宣昭

「レスリング」は、世界で最も古いスポーツのひとつであります。紀元前1000年の頃、ホメロスの「イリアス」の中で、勇者アキレスが戦勝を祝い競技会を開催したときに「レスリング」が行われたと記しています。紀元前776年より開始された「古代オリンピック」は、293回で幕を閉じるまで、1169年間開かれました。

「パンクラチオン」と云う、レスリングとボクシングの混成競技は、第33回大会(紀元前646年)から加わり、1000年以上オリンピック種目として実施されています。「パンクラチオン」は、現在ブームを起こしている総合格闘技の原型ともいえるでしょう。

世界レスリング連盟(FILA)は、IOCより、世界各国に存在する伝統的民族格闘技を統一する権限を付与されています。この世界の50種類以上あるといわれる民族格闘技が持つ、伝統・文化・精神を通した“精神と肉体のスポーツ・文化遺産”を永遠に残すことが、FILAの責務でもあります。

昨年、FILA副会長でもある、(財)日本レスリング協会福田富昭会長が、「パンクラチオン」の、オリンピック正式種目復活をFILAに提案しました。現在、会長起案ルールを基に、ワン・バウト大会「テストマッチ」を既に日本国内で開催するなど、日本が中心となる世界へ向けての発信活動を開始・・・そして、その第一目標を、日本で開かれる「第一回世界選手権大会」に置いております。この大会には、世界各国の民族格闘技「プロ」「アマ」選手たちが各国を代表し戦うこととなります。

ルール改正後の「パンクラチオン」は、全ての打撃を禁じた組業の総合格闘技となります。

パンクラチオン・スタイル・レスリング(公式名称)の勝敗の決し方は、

- (1) 絞め・関節技による一本
- (2) 1ラウンドに3回の大技を決めた場合のテクニカル一本
- (3) 3ラウンド制の最初の2ラウンドを制した場合判定(1-1の場合3ラウンドへ延長)

※ 各ラウンド共マスト判定システムを採用するため、引き分けはありません。

迫力あるアグレッシブな攻撃と多彩な技術が激しく展開される「パンクラチオン」に、皆様の熱い声援をぜひともお願いします。

以上